

西成連区地域づくり協議会だより

通 巻

第6号

発行日：平成二〇年九月一日 発行者：西成連区地域づくり協議会 一宮市小赤見字郷浦五三（一宮市西成出張所内） 電話：28-9002番

地域づくりの具体策をさぐる

=西成の①安心・安全②連携③自立を目指して=

地域を生かす事業を各部会とも模索中

地域住民の自主的な活動を目指す、「西成連区地域づくり協議会」が、各種構成団体のご協力を得て誕生して以来、ただちに各部会が開催され、西成地域を生かすための審議が重ねられている。

一宮市は従来から連区という優れた仕組みで運営されており、平成の大合併で23連区となったなかでの「西成連区地域づくり協議会」は第1号。そのため西成のこの協議会は、全ての他連区から注目をされている。自由な発想で地域を生かす事業の企画立案に、6部会が現状を見極めつつ、意欲的に取り組んでいます。

各部会での審議概要は、次のとおり。

●生活・環境・衛生部会（8月4日開催）

西成連区を東西に横断する国道155号の、中央分離帯に自生する雑草や、空缶やゴミのポイ捨てなどの現状を改善するため、今回は国道155号の景観美化に焦点を絞って部会を開催した。

国道155号の①雑草は防犯上好ましくない②空缶やゴミのポイ捨ては美観を損ねる③区間距離は3キロメートルに及ぶ——などの意見が噴出した。管理者の県土木・一宮建設事務所（今伊勢）の意向では、草刈は予算面から年間1～2回程度を予定、中央分離帯での活動は危険が伴うため止めて欲しいとの声もあり、また花壇作りには占用許可がいる——などの障害もある事が分かった。

ただ、この国道155号沿線以外の西成連区住民にとって、このテーマは適切なものか。「西成連区地域づくり協議会」の来年度事業計画に反映できる提言を審議するべきで、この部会は実行部隊ではないことも確認した。

次回の開催予定は、10月6日（月）と決めた。

●広報部会（8月11日開催）

「西成連区地域づくり協議会だより」のIT化については、時代の趨勢でもあり、西成連区地域づくり協議会の来年度事業計画に反映できる提言をしていきたい。

まずはホームページの開設と、関連諸団体とのかかわりなど、基本的な姿勢をかためる必要がある。加えてブログを活用することにより、維持管理が安価で、しかも簡単に情報が更新ができるメリットを生かす方策を含め検討したい。

次回の開催予定は、9月16日（火）と決めた。

= 6部会の審議経過を報告 =

理事会で事業内容の絞込み開始

西成連区地域づくり協議会の6部会長と、執行部による理事会を、9月に開催する予定。

この理事会では、新年度の事業計画の方向付けを探るため、6部会長の参画を得て、今まで開催してきた各部会の審議内容や経緯を報告いただく。

理事会は、6部会の報告を受け、新年度事業に反映をさせるため、関連諸団体との調整を重ね、今年中を目途に結論を導き出したい意向。

秋の交通安全運動 9月21日～30日

■高齢者を交通事故から守ろう・シートベルトとチャイルドシートを着用しよう■